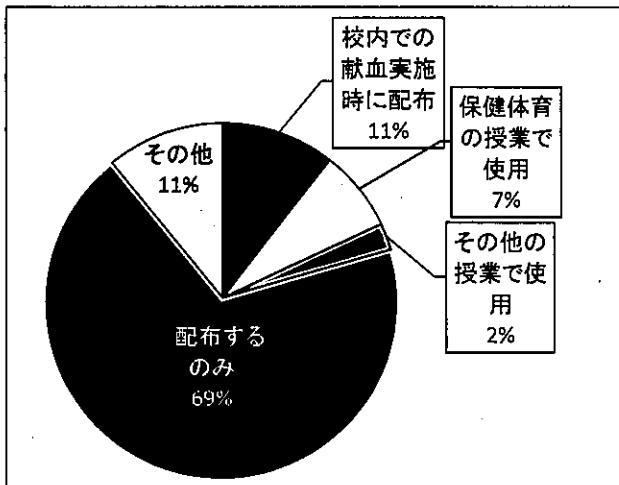


平成25年度「けんけつ HOP STEP JUMP」アンケート調査結果

【調査の基礎情報】

- ・調査の方法: 全国の高等学校へ資料を配布する際にアンケート用紙を同封し、資料活用後にアンケートへの回答を依頼した。
- ・調査学校数: 6,260校
- ・回答数: 521校
- ・回答率: 8.3%

1. この資料をどのように利用されていますか。



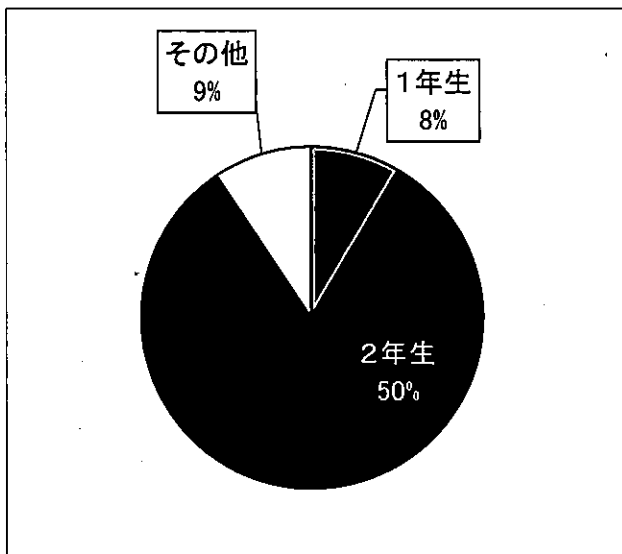
【その他の授業で使用(内訳)】

生物・理科/国語/看護/総合/朝読書/生活/社会/学級活動/

【その他(内訳)】

SHRまたはLHRで配布・担任から指導/献血の呼び掛け・事前学習時に使用/卒業時に配布/学年集会で配布・説明/回覧/保健室・職員室に設置/保健だよりの資料として使用/保健指導の資料に使用/興味関心のある生徒に配布/委員会活動で使用/講演(献血セミナー等)時に配布

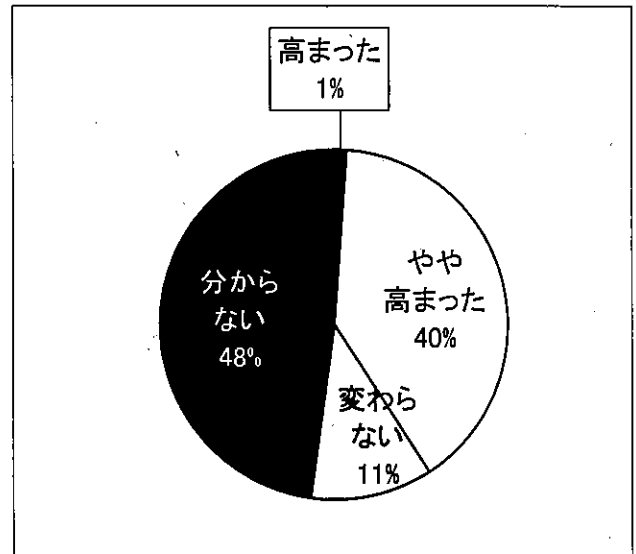
2. 本資料を何年生に配布しましたか。



【その他(内訳)】

全学年(各クラスに数冊・全生徒へ配布)/希望者/保健室・図書室で保管/配布していない/

3. 本資料によって、生徒の献血への関心に変化はありましたか。



#### 4. 本資料の内容について生徒の献血への関心を高めるためのアイデアや改善すべき点(主な意見)

##### (1) デザインについて

- ・見開きくらいのパンフレットで、マンガが描かれていると読んでくれると思う。
- ・ティッシュ等生徒の利用する物にチラシ等をはさんで配布するのがよいのでは。
- ・一冊にまとめると表紙だけ見て終わってしまうケースがあるので、内容をA4一枚で何回かに分けてみては。
- ・一度目を通して捨ててしまう生徒が多いので、クリアファイルにしたらよいのでは。持ち運ぶ機会が増え、意識が高まると思う。
- ・献血マークが入ったボールペン等があればいつも手にしてイメージが残るのでは。
- ・一枚で目につく形だと見やすいと思う。
- ・カラーでイラストや写真があり、わかりやすく読みやすい。

##### (2) 内容について

- ・フローチャートや血液型に関するコラム、〇×クイズなどがあればよりよい。
- ・高校生の興味関心を引く、アイドルやスポーツ選手を起用するのも良いと思う。
- ・身近な献血ルームについて大きく取り上げてもらえた方が良いかと思う。全国の献血ルームの一覧があってもあまり役に立たない。
- ・輸血が具体的にどれくらいの量の血で行われてるかを示してくれるといかに献血が大切か考えるきっかけになる。
- ・「献血してください。」の内容ではなく、献血の大切さ、生徒が自ら役立ちたいと思えるような内容だったらいいと思う。
- ・献血を受けた方の生の声が最も説得力があるのでもっと前のページにあった方が良いと思う。(差し支えなければ写真入りで。)
- ・何か特典があれば良いと思う。血色素量を確保するために、どんな物を食べれば良いか記載する。

##### (3) 他の啓発方法について

- ・テキストのみではなく、DVD等視聴覚教材を使用した方が関心や興味が高まるのではと思う。
- ・コスト面、配布の手間等を考えるとLINE等メールを利用した方が効果的ではないか。
- ・Webサイト等で映像を中心とした紹介に切り替え方が良いと思う。
- ・講演会を学校で開いて、具体的な説明をして欲しい。
- ・PRポスターやTVなどの広告媒体とタイミングを合わせて生徒の手元に届く方がより関心が高まるのでは。
- ・学校で一度でも経験していると、外でも献血に行きやすい気がする。

##### (4) その他

- ・「針」や「血」を見ることへの恐怖を理由に献血を怖がる生徒もみられるので、その部分の緩和ができれば良いと思う。
- ・とてもよくできたパンフレットだが、知的障害の特別支援学校の生徒にとっては内容の理解は難しい。
- ・校内で実施できれば関心も高まると思うが、現状ではまだ実施できない。
- ・生徒が献血できる機会や場所を提供してほしい。
- ・教員用資料の参考編の20ページ以降は、高校生用にも添付した方がよいと思う。
- ・保健の授業で活用していきたい。
- ・保護者の許可無く献血させるのは難しい。